



2024年8月13日

各位

会社名 株式会社富士山マガジンサービス  
代表者名 代表取締役会長 CEO 西野 伸一郎  
(コード：3138、東証グロース)  
問合せ先 取締役 CFO 兼内部監査室長  
兼経営管理グループ長 佐藤 鉄平  
(TEL. 03-5459-7076)

## 第2四半期(中間期)業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2024年2月13日に開示した2024年12月期中間期(2024年1月1日~2024年6月30日)の連結業績予想で公表いたしました2024年12月期中間連結会計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

### 1. 2024年12月期中間連結会計期間の業績予想と実績値との差異

(単位:百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する中間 純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	2,798	155	153	98	30円45銭
実績値(B)	2,776	202	199	127	39円07銭
増減額(B-A)	△22	47	46	29	—
増減率(%)	△0.78%	30.02%	30.07%	29.79%	—
(参考) 前期第2四半期実績 (2023年12月期)	2,914	164	163	99	31円57銭

## 2. 差異の理由

当中間連結会計年度においては、低迷する雑誌販売市場を鑑み、取扱高、売上高については2023年度よりも減収を見込んでおりました、また、取扱高、売上高の構成について、マーケットプレイス型からコールセンター、配送等、雑誌販売の周辺業務のアウトソーシング型の事業の比率の上昇、それに伴う人件費を中心としたコストの増加を想定し、利益についても2023年度よりも若干の減収を見込んでおりました。

しかし、

- ①主にマーケティング費用について、新規受注獲得よりもコスト最優先での費用投下に努めたことで費用発生を抑えることができたこと、
- ②オフィス回帰の動きに伴い、新型コロナウイルス感染症による出社制限の影響で失った法人の雑誌購読受注の購読再開需要が継続したことから、期初予想で開示した2024年12月期中間期における営業利益、経常利益の予想に対し30%以上、上回ることになりました。

なお、2024年12月期連結業績予想につきましては、2024年12月期中間期においては連結業績予想を上回る形で着地しているものの、2024年12月期第3四半期において、2024年6月21日付「連結子会社による株式の取得（連結子会社化）に関するお知らせ」で開示しておりますCreate Education Online 株式会社（以下、「CEO社」）の株式取得に伴う費用、2024年7月19日付「連結子会社による事業の譲受に関するお知らせ」で開示しております株式会社虔十社（以下、「虔十社」）の翔進予備校事業・アカデミア事業及び関連する塾事業部門の譲受に伴う費用の発生等が見込まれていることから、2024年2月13日に開示した連結業績予想を据え置きます。

今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上